

宮崎港

宮崎港の概要

県央部に位置する宮崎港は、“南九州の物流拠点”として本県の主要産業を支える港である。現在は、本県と神戸を結ぶフェリーが就航しているほか、関西方面へRORO船が就航している。

将来像

内貿ターミナル機能の強化とアジア経済圏で生きる時代の港湾へ転換
 ～地域の暮らしに寄与し、自立的発展に資する「みなと」～
 ～市民と世界に開かれた「みなと」～
 ～環境と調和し、自然と共生する「みなと」～

主な施策

- ◆大型化する船舶への対応
- ◆貨物集荷に向けた取組強化
- ◆内貿物流機能の拡充・強化

物流

産業

安心・安全

交流・環境

- ◆港湾利用者のための避難施設
- ◆港内の安全な航路・泊地の確保
- ◆災害発生時の緊急物資輸送網の確保

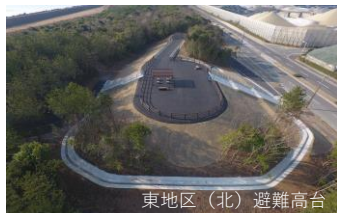
- ◆臨港交通体系の整備
- ◆漁船・プレジャーボートの適正な配置と施設整備
- ◆海上交通網の拡充

- ◆都市公園と一体となったアプローチ動線の強化
- ◆交流空間としての活用
- ◆マリンレジャー

- ◆一ツ葉防砂堤整備（H29～R8予定）
・航路への砂の流入を防止

- ◆南防波堤改良（S57～R14予定）

- ◆津波避難施設（命の丘）の整備
・東地区（南）H28完成
・東地区（北）H29完成
・一ツ葉地区 R2完成



東地区（北）避難高台



東地区避難高台 避難訓練状況



一ツ葉地区避難高台

- ◆北航路、航路・泊地浚渫（R3）
・新造船就航に向けた安全な航路・泊地の確保

- ◆ふ頭用地整備（R6～R7予定）

施設名	水深（m）	長さ（m）	幅（m）	トン数	完成年度
① 第1岸壁	-4.5	120	700	2	S44
② 第2岸壁	-5.5	270	2,000	2	S46
③ 第3岸壁	-6.0	390	5,000	3	S51
④ 第4岸壁	-7.0	210	10,000	1	H1
⑤ 第5岸壁	-7.5	390	5,000	3	H5
⑥ 第6岸壁	-8.0	210	10,000	1	H8
⑦ 第7岸壁	-8.5	400	2,000	4	H6
⑧ 第8岸壁	-9.0	390	5,000	3	H9
⑨ 第9岸壁	-9.5	240	30,000	1	H10
⑩ 第10岸壁	-10.0	160	10,000	1	
⑪ 第11岸壁	-11.0	240	30,000	1	
⑫ 第12岸壁	-9.0	320	10,000	2	

- ◆東地区防波堤1での防風柵整備（H30完成）



- ◆東地区防波堤2での防風柵整備（R4完成）

- ◆緑地連絡橋の整備（R6完成）
・緑地間周遊路の構築



みなと緑地PPPの活用検討

- ◆カーフェリー大型化への対応
・サイドスロープ整備（R3完成）



凡例

- 物流
- 産業
- 安心・安全
- 交流・環境